



進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第1号
令和2年 7月31日発行

「中学部作業学習」

製作や販売などの活動を通して、働くことの楽しさや喜びを味わい、将来の社会自立に必要な基礎的な力を身に付けるために、火曜日と木曜日に2時間ずつ「作業学習」の時間を設けています。今年度は、14名の生徒が、家庭班と農工芸班の2つの作業班に分かれて活動しています。家庭班は、ミシンや織り機を使い、マスクケースやストラップなどの製作に取り組んでいます。農工芸班は、農作物を栽培したり、牛乳パックを再利用した製品作りに取り組んだりしています。身支度や手洗い、あいさつや返事など基本的な動作も少しずつ自分で行うことができるようになってきました。2・3年生は、これまでの経験から見通しをもって意欲的に活動に取り組むとともに、上級生として1年生に教えてあげたり、皆をまとめたりする姿も見られます。

今後も、生徒一人一人が、自分の役割に責任をもって取り組んだり、友達と協力したりしながら、働く力や生活する力を身に付けることができるように支援していきます。



(農工芸班・紙グループ)



(農工芸班・畑グループ)



(家庭班)

「高等部校内実習」

6月22日(月)から26日(金)までの5日間、校内実習を行いました。また、学校再開後すぐの実習となりましたが、事故やけが等なく、落ち着いて取り組み、生徒一人一人に成長が見られた1週間となりました。

1年生は、初めての一日を通じた作業経験でしたが、一つ一つの作業を確認しながら丁寧に行うことができました。2・3年生は、各自で決めた目標を意識しながら取り組みました。また、1年生に教えながら作業を行う姿が見られ、周りを見て活動に取り組むことができました。

将来の生活に必要な能力や態度を身に付け自己実現を目指す心構えを養い、より主体的に進路の選択・決定ができるように今後も指導を進めていきたいと思えます。



(清掃作業)



(農園芸作業)



(手工芸作業)